

「魅力ある歴史・文化・自然を感じ、 心がふれあう緑のまちづくり」

萩市は、山口県の北部に位置し、周囲を日本海や山々に囲まれた、緑豊かなまちです。

毛利氏の入城後から江戸後期まで約260年間萩藩政の中心として栄え、人々が集まり、城下町として発展し、今なお、自然や歴史、文化が色濃く残っています。

このように先人たちが大切に守り、受け継いできた雄大な自然や緑、それらと一体となった文化財などが数多く存在しています。その一部である萩反射炉や大板山たたら製鉄遺跡などの産業遺産が世界遺産に登録され、また、太古から続く特色ある自然が萩ジオパークとして日本ジオパークに認定されました。

こうした広大な自然や緑は多種多様な生物の住み家にもなっています。また、それらの自然や緑は、人々の心をいやし、健康的に暮らすことを助けてくれます。

しかしながら、近年は社会情勢の変化が著しく、地球温暖化による緑の減少や生活環境の急激な移り変わり、集中豪雨などの自然災害の激甚化により、年々自然環境の維持が困難になっており、これらの資産を未来へ残していくためには、事業者の皆様及び市民の皆様と一体となった取り組みが必要です。

「萩市緑の基本計画」は、平成16年、平成23年に策定した「萩市緑の基本計画」を継承し、「萩市基本ビジョン」などの各種計画を踏まえ、更には、萩市花と緑の審議会委員などのご意見を伺いながら策定しました。本市はこの計画に基づき、事業者の皆様及び市民の皆様と一緒に、現在ある美しい緑の維持に取り組むとともに、緑の啓発活動や意識の向上に重点を置いて、緑化を進めてまいります。

終わりに、本計画の策定にあたりまして、ご協力をいただきました関係機関の皆様、市民の皆様に対しまして、心より厚くお礼を申し上げます。

令和5（2023）年3月

萩市長

田中文夫

